

令和4年度 学校関係者評価書

		鈴鹿市立深伊沢小学校				
評価項目	本年度の活動(具体的な手立て)と指標	達成状況	成果と課題	学校関係者評価	今後の改善点	
1	学力向上	①ICTの利用推進	○2学期末アンケート「ICT利用や教材の工夫をしてわかりやすい授業をしている」満足度 保護者 97%。	○ICTサポーター2回/月配置 ○校内研修における各教員の研究授業の中でも積極的にクロームブックを使用し授業を公開することで利用に関してのハードルは以前より低くなっている。 △推進目的の一つであるである「プログラミング教育」への取り組みが遅れている。 3学期に職員研修を予定。	○ICT利用は現代では必須事項。しかし、SNS等課題を含む面もあるので、常に使い方の指導、学習を継続していただきたい十分やっていただいている。 ○クロームブックをはじめ家に持ち帰り使用する場合、使うことを嫌がっていたが、慣れてくると嫌がらなくなり今は当たり前のように使っている。宿題も楽しく行っている。長期休みには日記を書いていた。今後必要なタイピングスキルなどを早くから行うことはありがたい。今後もICTの利点を生かし、効果的に一人ひとりの学力定着向上につなげてほしい。 ○今年度も昨年度に引き続きたいへんであったと思う。今年度もモート授業は行ったのか？普段の各教科の授業でもICTは使われているのか？ ○97%満足は高い。しかし、3%の意見を聞き改善していければ。 ○子どもたちの操作は慣れてきた。オンライン授業の際も先生方に丁寧にいただいた。先生方のプリント類を配布する際の事故や感染が心配である。 ▼ICT教育の利用推進について、保護者満足度97%のうち「満足できる」は「どちらか」と満足できるを下回っている。児童は「満足できる」が高いため、授業参観、学級便り学校便りでもっと発信する必要があるかもしれない。 ▼クロームを使った宿題等が少ないように感じる。親としても子どもが使っている姿を見たい。 □コミュニケーション力は、学校、家庭、地域が連携し、強化していきたい。個人差が出ないように細かな指導をお願いしたい。 □教師、児童ともに研修を行いレベルアップを図ってほしい。	※三学期高学年が毎日クロームブックの自宅への持ち帰りを始めた。子どもたちが使用する姿を見ることで保護者の気持ちに変化が現れることを期待する。また、学校アンケートの回答選択肢を増やす、あるいは数値表記に変更していく。
2	人権教育	①命を大切にするとともに一人一人の特性を認めあえる集団づくりの推進	○2学期末アンケート「命を大切にするとともに、一人一人の特性を認めあえる集団づくりを推進している」満足度 保護者 93%	○5年生において弁護士をお招きし、「いじめ防止授業」を実施した。 ○4年生では障がい者理解のため、社会福祉協議会等から講師をお招きし、授業を行っていただいた。 ○1月に開催予定の人権集会に向け全学年で取り組む。	▼今年度は聞く力の育成に取り組み、互いに話を受け止められる聴力がついたのではないかと感じる。保護者満足度93%のうち「満足できる」割合が少ない。児童は「満足できる」が高い。学校からの発信やアピール不足が原因かもしれない。しかし、人権問題等は物言わぬ少数の人がターゲットになりやすい。残り7%への細かな対応が大切である。 □ICT推進やネット社会ということもあり、ネットリテラシーにかかわる学習を高学年で行っていただければと考える。 □通常学級の子どもたちが、支援学級の子どもたちに対し支援学級だからといったこともなく、特性を認め合っていると感じる。学校にいる別の大人から学ぶことにより、いつもと違う雰囲気や授業を受け、印象により残ると思う。 □単学級で、6年間同じ仲間同士で、人間関係が固定化しないよう互いを高めあう感性を養ってほしい。誰もが安心して学べる集団になってほしい。 □人権フォーラムに参加している子どもたちは全員しっかりと意見を発言しており、感心した。みんなが楽しく来れる学校にしてほしい。 □これから先も常に相手を思う気持ちを持って進んでほしい。 □学校だけでなく、各家庭内でもあいさつや言葉遣いを気を付ける取り組みを行ってほしい。 □中学校での人権フォーラムでも小学生が積極的に自分の意見を発言していた。そのような取り組みが思いやりをはぐむことにつながると思う。	※人権教育について、中学校区内の学校間連携がとて大切であり、引き続き校区で足並みをそろえ行っていく。 ※学校アンケートの回答選択肢を増やす、あるいは数値表記に変更していく。そして、より詳しく把握できる調査に変更していく。
3	生徒指導	①SC、外部機関の活用	○途切れない支援のための引継ぎ会の充実 (関係機関) 学期ごとに行う支援会議 12回 12月末	○SC利用者数 児童 3名 保護者 1名 ○通級児童 3名	▼指標や達成状況は回数評価ではなく、児童保護者の満足度で語りたい。 □一人で抱え込まず、複数の関係者の方と共有することから安心して子供を学校に通わせることができる。 □進級し担任が変わっても、引継ぎを行っていただいているので、ちゃんと見ていただいているという安心感につながる。今後も小規模校の強みを生かし、全職員で共有し、一貫性を持ち接してほしい。 □子ども、保護者、学校が連携し、情報共有をすることが大切である。	※児童、保護者(事業にかかわった)の満足度を測れるようなアンケートを実施する。
4	学校経営	①学校通信、HP等による情報発信 ②働き方改革の推進	①2学期末アンケート「学校通信・HP・メール配信等で発信している」満足度保護者98% ②一月の時間外労働削減(昨年度より)+2時間 4月から12月まで、1人当たり月17時間	①○学校便り12月末第29号発行。2学期以降導入した「マチコミ」を活用し、保護者、学校関係者に学校便りをカラーにて配信。 ②○月4回程度のノー残業デーを実施。12月末現在 45回実施 △コロナ禍前の行事内容、規模に戻りつつあるため準備等の時間を要することになった。	①○保護者の満足度98%は素晴らしい。(学校での子どもの様子を保護者と共有できて)学校便りをマチコミで配信することで、カラーで見やすく、行事等の日付を確認しやすくなった。今後はペーパーレス化を進めるとよい。 ▼学校通信・HP等による情報発信について、「満足できる」割合がもっと高くてもよいのではないかと。学校は十分に発信していると思う。とすると課題は発信する内容や中身のなか。 □意見募集、参加報告等の手段として使えるか？これまでのメール配信にかかっていた費用を環境整備などに流用してもらいたい。 ②□教職員の働き方改革を進めることで、気持ちに少しでもゆとりができ、子どもたちと接してもらえらると思うと安心できる。 □勤務時間削減のため、ICTの効果的な活用、ペーパーレス等、教職員、保護者、地域の方々の意識を変えていくことも必要になる。 □働き方改革が進みにくい職場が学校といわれている。ICTなどしい教育課程等の取り組みが再び増え、減らすことがない。コロナ禍を経て、仕事、行事を積極的に切り捨てることも大切である。	※今後も学校の生の様子を伝えられるよう、学校便りの発行、マチコミの積極的な利用を行ってほしい。マチコミ導入にかかわり、今までのメール配信システムは今年度をもって停止する。 ※今後も勤務時間削減の意識を継続し業務に取り組んでいきたい。
5	地域との協働	①FCE2022の企画・運営 ②ボランティアの活用(学習・読み聞かせ) ③環境整備	①学校運営協議会、PTAが主催する ②ステップ学習(月1回)、読み聞かせ(月1回)実施、いもの植え付け・収穫 ③年間4回実施	①○SDGsを柱に実施することができた。学校運営協議会が主となり地域の食材を使った豚汁を調理していただいた。 ②○コロナ禍前と同じように取り組んでいた。また、担任も積極的に外部講師を招いた出前授業をたくさん実施した。 ③○例年通り実施できた。また、長年の懸案事項であった学校池の再生を行うことができた。 △再生した池の維持管理。	○子どもたちがおいしかったと言って空の鍋を持ってきてくれたことがうれしかった。久しぶりのFCEで、コイの放流など思い出になる行事だった。 ○地産地消、子どもたちが植えたさつまいもの取り組みもよかった。子どもたちがSDGsにかかわり体育館での発表会も意義があった。 ▼地域、PTAからもたくさんの方々の協力していただいた。計画、準備にもっと時間が必要である。 □FCEは、コロナが収束すれば、地域の人との触れ合いの場に設定するよう企画立案してはどうか。 ②○人生に影響を与えるような授業を行っていただき、子どもたちにとり素敵な時間となった。 ○地域の我々にとっても子どもたちと交流できる楽しい時間です。今後も続けていただきたい。 ▼依頼される機会、回数が増えたため、負担も増えた。1週間に複数回は多い。更なるボランティアの方々への声掛けは必要。 □この地域の特性として、学校、子どもへの思いは強いものがある。今後もこの地域で子どもを育てる意識を持ち、地域一体となり取り組みたい。 ③○校内に壊れたものを放置することはよくない。きれいになった池を見て改めてそう感じた。旧幼稚園舎も学童保育が使うようになり、生まれ変わった感じがする。 ○きれいな鯉をみられ、よかった。関係者の方々に感謝をしたい。 □7、8、9月の環境整備はたいへん暑く、数人の方から熱中症になったとも聞いている。実施時期を検討したい。 □今後の池の維持管理をどのように行っていくのか課題が多そうである。 □子どもたちに日常活動の中で、より良い教育環境への感性を育てていきたい。PTAや地域との連携はかなり進んでいると思うが、満足度に反映されていないのはなぜか。	※今年度のFCEには、学校運営協議会、PTA、地域の方々のご理解とご協力を得、実施することができた。来年度以降も以前のような地域と共にこなうスタイルを継続し、実施していきたい。年度初めの早い段階から学校運営協議会を中心とし計画を行ってほしい。 ※定期的なボランティア活動以外にも来年度以降も無理なお願いが増える可能性があるため、年度途中にもボランティアの方々への募集を行ってほしい。 ※池の鯉を育てていくため、今までの環境整備に加え、入梅前に池の清掃を行う必要がある。